

1 3 番 13番議員、石井勲です。

通告に従い1、都市計画道路、進捗状況は。2、旧第一生命所有地、公園等の取得後の利活用と整備予定は、の質問項目で町の考えをお伺いします。

29年酉年を迎え、早3月に入りました。アメリカ合衆国トランプ大統領の発言や行動により、世界の国々が対応に追われています。日本は早期の首脳会談を実現したが、為替や貿易等の経済問題で政府、経済界や、経済界も神経を研ぎ澄まし、気の休まることがない状況と感じられます。

また国内でも大きな問題が提起されている、オリンピック関連、日本の生鮮食料流通の拠点、築地豊洲問題、そして、教育関連で大阪の森友学園問題、日本の2大行政地東京、大阪が注目されている。

人は物の豊かさから心の豊かさを求め始めて久しい年月が過ぎています。現世代を生きる私たちが豊かさを求めるのは、次世代の若者や30年、50年先の人たちのよかれと考える豊かさに対して、投資していくのが問われていると考えます。

本定例会においては午前中に町長の施政方針が述べられ、29年度予算案が上程されます。29年度は予算編成は大井きらめきプランの着実な推進、チャレンジの実践、効果の見える施策事業の展開、協働のまちづくり、財政の安定、の5つの視点を重点に据え、町が抱える課題や、町民生活に深く関係する喫緊の課題への対応を最優先に施策の具体化を図るとした。

人の求める生き方がその時代によって変わってきます。求めるものが変わることが常であります。しかしながら、いつの時代においても、将来においても必要とされる、先に先行投資すべきものは次世代教育と都市基盤整備であると考えます。そこで、大井開成和田河原路線の延長線上にあり、先ごろ、町道認定した、都市計画道路の進捗状況で3項目、28年度取得した旧湘光園跡地、公園、道路の取得後の利活用と整備予定で2項目、町の考えを伺います。

最初に都市計画道路進捗状況は、1、県による予備設計、詳細設計の状況は。2、JR東海、県警との協議状況は。3、全体の事業経過は予定どおり進んでいるか、お尋ねします。

二つ目、旧第一生命所有地、公園、私有道路、取得後の利活用関係で。一つ目、28年施政方針ではパークゴルフ場の整備も視野にと説明されたが、町の方針は。2、道路整備の予定と道路歩道等の企画は。

以上、登壇での質問といたします。答弁よろしく願いいたします。

議 長 答弁願います。

町

長 通告３番石井勲議員の都市計画道路進捗状況はというようなことで、細かく３点、そして、２点目としまして、旧第一生命所有地の取得後の利活用と整備予定はというようなことで、失礼しました。前段３点の、後段２点頂戴しているわけでございます。そのような形で、都市計画道路についてでございますが、まずは本町の主要な道路網が主に、町の平たん部地域に配置されましたところの、平たん部地域の北東部に位置する東名高速道路の大井松田インターチェンジを軸にいたしまして、都市計画道路343号、いわゆる通称、国道255号線が南北に通っております。また、都市計画道路341号、通称大井開成関本線でございます。県道御殿場大井でございますが、これが東西方向に配置され、この２本の都市計画道路に並行して格子形状になるように都市計画道路331号、通称松田大井線県道小田原松田でございます。今回の御質問のあります都市計画道路342号、通称、仮称でございますが、金子開成和田河原線が配置されておるわけでございます。

そのような中で、都市計画道路の決定・整備状況でございますが、４本の都市計画道路は、昭和38年の都市計画区域の設定に引き続き、昭和40年、４本同時に計画決定されております。その後、順次整備が進められ、供用開始されております、国道255線が昭和43年10月に、大井開成関本線が昭和63年３月に、松田大井線が平成15年４月に、そして、金子開成和田河原線の開成側が、足柄紫水大橋までが平成26年３月に整備が完了しておるわけでございます。

都市計画道路の未整備箇所は、金子開成和田河原線の国道255号の坊村交差点から県道小田原松田線のせせらぎの郷西交差点までの約1.1キロメートルの区間が未整備となっているわけでございまして、現在、大井中央土地区画整理事業に歩調を合わせ、県により事業が進められております。

このような中、丘陵部地域に接する相互台地区において、県、町、株式会社ブルックスホールディングスの３者が協働して、未病いやしの里センターの整備が進められ、平成29年末には、一部施設がオープン予定となっておりますわけでございまして、大変重要な位置づけの道路であります。

また、県道708号、秦野大井でございますが、の篠窪地区で進められているバイパス工事も平成29年度の開通が予定されており、町の中心部を通り、秦野方面から開成方面へ東西方向に繋ぐ路線の一部区間である、都市計画道路、金子開成和田河原線の早期の整備の要望が望まれておるところでございます。

そのような中で、1市3町とも協議会をもって県へ要望活動をしておるところでございます。

そのような中で1点目の県による予備設計、詳細設計については、との御質問でございますが、まあ当該道路は県が事業主体となった平成26年度から本格的に事業に着手していただいております、平成26年度には、路線測量、地質調査、道路本体及び立体交差部の予備設計が、平成27年度には、道路詳細設計、交差点詳細設計が、28年度には構造物詳細設計、用地測量が実施されておる、このような進捗状況でございます。

次のＪＲ東海、県警との協議についてでございますが、これは県があたっているところでございます。都市計画道路金子・開成・和田河原線を町道9号線に認定した平成26年3月以降、町も県とともに、ＪＲ東海と協議を重ね、平成27年8月にＪＲ御殿場線との交差方式をアンダーパスへと変更することについて、ＪＲ東海の合意をいただいたところでございます。

この合意を踏まえまして、都市計画の変更に向けて、県警と都市計画道路の縦断勾配、町道の取り付け、信号機の設置などについて協議を平成28年11月に終了しておるわけでございます。

さらに、県警協議と並行して、ＪＲ御殿場線との立体交差部の詳細設計等をＪＲ東海へ委託しており、都市計画道路の立体交差部の幅員については、本年3月末には決定する見込みとなっておりますところでございます。

次に、「全体の事業経過は予定通り進んでいるか」との御質問でございますが、平成28年3月に改定されました、神奈川県道路整備計画である「かながわのみちづくり計画」において、本路線については事業化検討箇所から整備推進箇所に格上げをされております。この計画の目標年次である平成37年には整備中の事業に位置付けられております。整備が完了する最終的な年次目標はまだ明確になっておりませんが、本年3月末のＪＲ東海への委託結果を受けまして、平成29年9月頃を目途に都市計画の変更を行い、続けて事業認可の手続きを進めていくこととなりますので、おおむね順調に事業推進されているものと考えておるところでございます。

2点目のご質問の「旧第一生命所有地（公園・道路）取得後の利活用と整備予定は」ということで、2つ質問をいただいておりますが、第一生命保険株式会社が所有されておりました、湘光中学校南側道路につきましては、道路の修繕や用地の寄付についての合意形成が図られず、町への道路移管についてはかねてから町の課題となっております。

ました。本年度、道路の移管に係る課題解決と併せ、公園を永年にわたり町民の利用に供される施設とするために、湘光中学校南側道路の修繕に伴う経費を相殺することにより、本公園用地、16,355.07平米を買収するとともに、湘光中学校南側道路等を寄付により移管を受けたところでございます。

まずは、「平成28年度施政方針ではパークゴルフ場整備も視野にと説明されたが町の方針については」との御質問でございますが、当公園の活用につきましては、現状のまま、公園として利用することと併せ、「パークゴルフ場」の整備の可能性についても引き続き検討を進めているところでございます。パークゴルフ場の整備にあたりましては、維持管理経費を含む費用対効果を見込む上で、町民をはじめ近隣市町の多くの方々に利用される施設とすることが重要であり、近隣にパークゴルフ場が多数整備されている状況の中では、他の施設とどのように差別化を図り、どのように利用者を確保していくかといったところも、慎重に検討する必要があると考えております。当公園につきましては、立地条件や面積的な要件から判断すると、住宅地に隣接していることによる騒音対策や地域住民の交通安全対策、また、整備可能ホール数など、他の施設と差別化を図っていく上で、課題となる要件もあるものと考えております。当公園への整備につきましては、今まで、検討を進めてきた中で候補地として挙げられた用地や新たな候補地の可能性も含め、改めてメリット・デメリットを比較検証しながら、検討を進めてまいらなければならないと考えているところでございます。

次に、「道路整備の予定と道路・歩道等の規格は」との御質問でございますが、まず、第一生命株式会社から寄付を受けました、町道7号線（湘光中学校南側）から町道11号線（旧湘光園）までの区間は、私道であったところから一般開放されていた道路であり、現在は、舗装の傷みが激しく、歩車道の分離はされているものの、歩行者等の安全性が確保されている状況ではないことから、早期に改良すべき路線であると認識をもっておるところでございます。整備につきましては、平成29年度以降、現地調査や設計等を行い、早期整備を目指したいと考えております。したがって、現時点におきましては、道路整備の時期や道路・歩道等の規格は明確になっていないというような状況でございます。また、今回、第一生命株式会社から取得しました、公園敷地東側（町道11号線から町道12号線（上大井小学校北側））に位置する通路は、車両を通行させるという選択肢もありましたが、町道11号線及び町道12号線との交差部の形状、園内通路の安全性の確保という課題を整理する必要がある、今後、

地元の方々の意見聴取も含め慎重に判断していくこととしております。当面の間は、公園敷地内園路として、公園の一部として管理することとしております。

何はともあれ、町民の利便性も考えなければならないわけですが、安全性をきちっと確保した上で、道路として使用していかなければならないわけございまして、この辺のところは公園の使い方もきちっとしなければ、当然ならないわけございます。それらと一体にまた考える必要もありますもので、少し時間をいただければならない要件といいますか、課題じゃなかろうかと、そんな判断をしておるところでございます。

以上でございます。

1 3 番 答弁いただきましたが、いくつか再質問させていただきます。

最初に都市計画道路関連で、3項目質問しましたけど、関連がありますもので、前後するかもわかりませんがよろしくお願いいたします。

今、いろいろ手続きに関しては、県とJRのそういう関係で順調に推移してると思うんです。そして29年度の9月には都市計画の変更というような答弁がありましたけれど、大井町の都市計画、中井と連携してると思うんですけれど、中井との了承というのは、それはいつ頃やって、中井では当然、都市計画審議会委員会だとかそういうのは開催されてるということですけど、この辺の期間というのは2カ月とか3カ月あるのかどうか、いきなり大井町がやって県のほうに出してそれでオッケーなのかどうか、その辺をちょっと確認させてもらいたいと思います。

都市整備課長 今回の御質問は都市計画が中井と同じだと、大井都市計画という言葉のご質問だと思いますけども、この件に関しましては、大井町で特に中井とは調整というようなことは必要ないということでございます。

以上です。

1 3 番 必要ないということで、それでは順調に推移していくというようなことで、詳細設計まで入ってきたと、JRともということで、その次は当然買収というものが関連してくると思うんですけれど、その辺の買収にかかるというような時期というのは、だいたいもう目安がついているのかどうか、その辺をお聞かせ下さい。

都市整備課長 ここで、JRのほうで結果が出れば、来年の29年9月をめどに都市計画変更が行われると、それを受けて県のほうで事業認可を取って、それから整備に入っていくこととなりますけども、これ具体的にはいつから用地に入っていくというようなところは、まだ県のほうからは伺ってございません。いずれにしても、29年9月以降、要は30年度のおそらく予

算の中から動き出していくというようなことであるというふうに把握してございます。

以上です。

- 1 3 番 なぜ買収のというようなことを質問させていただくかという、実は都市計画、先ほどの区画整理事業、この辺の关系到絡んでくるかなと思ひまして、区画整理は今出てる表示の看板でいきますと、31年度で完成と、そして32年度、組合員を解散というような掲示が出てます。実は27年に私質問した時に詳細設計とかそういう部分が遅れているみたいな感じだったんですよね。それでJ R 東海の關係がネックになっているのかなというふうに感じてました。

そうしますと、この区画整理の時、0.3ヘクタールですか、道路が絡んできてますから、ここの金額が当然、区画整理組合のほうは当然収入に挙げてくる、解散までには挙げてくるのではないかと、そうしますとここの詳細設計が終わって県とか町が協力して買収の作業に入るんだと思うんですけど、その作業に入ってくないと区画整理のほうの資金が関係してくるのかなということで、ちょっといつ頃買収かということで質問させていただきました。

そうしますと、今の29年の9月以降に県といろいろ話して、30年にはそのような手続きが入ってくるというようなスケジュールでいくと、ここに区画整理に関しては今の予測っていうと、そこところが問題があってというようなことは考えていられないのかどうか、その辺をお聞かせ下さい。

- 都市整備課長 29年の9月っていうのは、区画整理への交換金っていいですか、その支払いのリミットでございます。区画整理につきましては、平成30年、31年という収入を見込んでるということでございますので、29年9月に何がなんでも都市計画変更していただく、事業認可をとっていただく、それから30年度の予算にその辺の県のほうで予算化をしていただく、といところの流れの中で今進めているところでございます。

以上です。

- 1 3 番 資金的な流れ、一般の町民さんの地権者の方々、道路沿いの人は少しぐらいずれても問題はないと思ひましたけども、区画整理に関してはやはり組合解散っていうのは、なかなかもう決まってるということで、ちょっと問題かなと思ひましたが、今しっかりと準備ができてるといようなことから、安心させていただきます。

また、この道路に關しまして、実は非常に景色がいい所なんです。私、前回の質問の時にも大井町の富士山が見えるといようなことをいろいろ

ろ話してるけれど、実際問題としてあまり景観というようなことでPRしてないと、先ほどPRの仕方が少し足りないんじゃないかなという話が、先ほどありましたけれど、私も富士山が見える景観がいいということをやなかなか大井町はPRしてないと。前回のときに富士山のいろんな道とかそういうものをやったらどうか、というような話で、ここの道路はこれから協議をされていく中で、私もすごく、もちろん開成町とか南足柄の南箱道路に繋がっていく、最終的には道路になると思うんですけど、この景観はやっぱりすごくいいということで、大井町のこの景観のすばらしい道路ということで、私はここを電柱の地中化ですか、新しい道路ですからそういうことを提案してあそこで散策できたり、幅を広げて、そういうことを協議する、提案していく場が、そして最終的にはできれば一番いいと思うんですけど、そういうようなことを考えて提案することをできないかどうか、県のほうに、その辺はどうでしょう。

都市整備課長　　今、現時点では、まだそこまでの話も進んでないというところがございますけども、当然道路でございますので、道路照明等は付けております。その電柱の問題ですけども、電柱がどういうふうな形で、その道路に配置されていくのかというような部分もまだ明確になってございません。その地中化というところがございますけれども、その辺、今後そういうことで進めていくのであれば協議するんですけども、今の現時点の中で、ちょっとそこまでは協議してないというのが現状でございます。今後、課題というところがございます。

以上です。

1　　3　　番　　今、そこまではいつてない。ただ詳細設計ができてくると、それに付随して信号とか、警察の関係で信号は言われてきてるけれど、ということなんでしょうけれど、まだできてなければ提案するとかそういうことはできないかなと。松田みたいに後から地中化していくというのは非常に、予算の二重かかりますけれど、これから設計してこれからもつくるのであれば提案しとけば予算的にも後からつくるよりもずっと安くできると思いますので、やはり国のほうの予算とかそういうのを兼ねて地中化っていうことを町の施政として、これを推し出すというようなことの施政をしてもらえればと思うんですけど、どうですかね。

町　　長　　理想は私もそう思っております。しかしながら、それに至るまでの経緯の中で私も要望活動をずっと18年間やってきたわけでございますけども、要望活動するにあたって言葉の気をつけなきゃなりません、あまり先の話、要望の大きな話になりますと、県が手をつけてもらえない

から余計なこと言うんじゃないかとさんざん言われてきた経緯がございます。

それがどういうことかと申しますと、これは紫水大橋を架ける事業認可をもらうまで255号線の話はするなど、そんなことを先の話まですれば、そんなに金かかるもんだというのは紫水大橋も架けねえということになっちゃうから、なぜそれでなくても、もっと交通渋滞地域があるのに足柄平野の酒匂川にそれだけ橋を架ける必要があるのかというようなことを、ある方面から示唆をされまして、そんな中で言葉を出さない、紫水大橋が事業認可を得てから、ようやくそんな発言もできたというようなことでございますので、今の県の財政状況からいえば、おやりになるんだったら設計はいくらでも引くから大井町さん、その財源負担はしなさいよってということになるんじゃないかなと思いますし、今、電線の地中化をしてるのは、連担性がある所なんですよね。それでやはり地中化しても、電気の配線をとるあれがありますもんで、今後将来、住宅が張りつくような所だとかというようなことが特別な事業を除いて電線の地中化をやっているところは日本全国にも限られておるもので、そういう私も思いでございますので、何かの機会にそんな話を出してみることがきるかと思いますが、それを県がやってくれるかってことで事業認可を得たからというようなことで、何がなんでも要望の中に入れてけってことは、私の弱虫かも知れませんが、いろんな経緯の中で、ちょっとどうかなというような思いをしておりますが、何かの機会にそんな話を重ねて出して言い、そして県の関心を引くようにできようかと思いますから、そんな働きかけを少し頭の中に入れて動いていきたいとそんな思いでございます。

- 1      3      番      もともとが町道でやらないといけない都市計画道路ですから、それを県の事業としてやってもらったという、言葉もいろいろありますけれど、町も数億のお金を土地買収にしましたけれど、いろいろこの県でやってくれるということに関してまでの経過というのは非常に御苦労があったというふうに感じております。我々議員の立場とかここら辺の観光とかいろいろなことを考えていくと、やっぱり大井町も実は残念ながら、御殿場線はやはり小田急には名声で負けていると。大井町が今まで企業の税収でいろいろ上がってきたということですけど、もう一つの大井町の発展は、やっぱり255だったと思うんです。東名ができて、255があった。だからあそこに大きな企業はないけれど、大きな企業の相手みたいなレストランとかそういうのがこの辺では一番あると。それですから、企業の数が多いというふうになってると思うんですね。やはり私は、大



井町がいきっていくには御殿場線を2本、3本ふやすよりも、やはり道路整備をきちっとして、その沿線にしっかりとした店舗を張りついてもらって、そこでいろいろな地域から来てもらうという施策をしていかないと、私は少し乗り遅れてしまうんじゃないかと。そうするとPRしていくにはやはりそういうことを、あるいはサイクリング、開成町を追っかけるのもしゃくにさわりますけれど、あのサイクリングロードのこっから、いやしのセンターからずっと行けますよと、そういう連携をとっておいて、そうすると開成、南足柄も南箱道路につながれば、そういうのをみんな協力してくるのではないかというふうに思いましたもので。

ぜひ町長、顔が広いところですから、いろいろな機会に県の方々、担当者以外にもいろいろな方々に声をかけていただいて、そういうことができれば私は大井町の一つの顔というようなことになるんじゃないかというふうに感じましたもので、そういうふうな方向で何かの機会に伝えていただければということ。

次に、旧第一生命所有地取得後の利活用ということに移らせていただきます。28年度施政方針で、先ほどパークゴルフ場整備も視野に入れたということで我々議会も議決しましたし、私も賛成をしました。ですから、この取得に関してどうこうということではございません。ですけど、施政方針の中に、そして町長の選挙の公約の中にとというような言葉を含んで、パークゴルフ場を視野に入れたというふうに聞いてたんです。私は施政方針にそういう記述があるというのは非常に重いことだと。町長の1年間の事業の中でこれをやっていきたい、これを視野という言葉、私はよくわからないもので、いろいろ辞書を引っ張ったり、インターネットとか見てみるでしょう。やっぱり目をうごかさないとこで見てるというようなことで、だから、キョロキョロしないで1点を見る。そういうふうに解釈すると、パークゴルフ場を視野に入れたということ、を文章に入れたということは、相当な覚悟があったというふうに私は理解しています。その辺で視野というのは適当に幾つかの条件の中の一つだったのか、あるいは最重点が視野だったのか、町の考えをお聞かせください。

町長 当然、そのことを視野に入れた中で買収を検討し、その中で買収させていただきました。しかしながら、パークゴルフ協会の方々といろいろな意見を交わす中で、パークゴルフ協会の方には1回が完全に36ホールできないところだったらだめだというような、かえってお叱りを受けました。

パークゴルフ協会の方々も、近隣問題が一番の問題になるんじゃないか

ろうかなというようなことをごさいますて、パークゴルフ協会の方々もあそこを最良の最善とかはできないです。最良の候補地とは考えていらっしゃる御返事をその後もまたお伺いしまして。そういう点におきまして、やはりパークゴルフされる方々が気兼ねなくできるようなところがいいのかなというような思いもありますし。またここは、利用を既に過去から続けてられている方もありますもので、この辺のところの両方の意見をきちっと整理しなければならないことだというように思います。

そういう点では、パークゴルフ場は、ここも一つの視野に入れておりますが、まだまだ大井町広いところでございますもので、パークゴルフ協会の方々ともいろいろ議論を重ねた中で候補地として最善の候補地を探していくことが必要じゃなかろうかなというように考えております。

以上です。

- 1 3 番 あその場所を視野に入れてたと。でもいろいろ協会の方々も、議会も特別委員会で委託されたり、委員会に付託されまして、36ホールは無理だというようなことで、陳情の願意というんですか、願いはわかったけれど、やはり採択をしませんでした。

これは、そこで36ホールどうしても欲しいというようなことでしたら無理だということはわかった。そうすると、ではパークゴルフ場はちょっと置いて、あそこを取得するに当たって、パークゴルフ場を視野ということだったんですけどね。その以外にあそこを買う。買うとしたら何かほかの理由があったのかどうか、その辺をお聞かせください。

- 企画財政課長 今の点につきましては、答弁の中でも触れさせていただいたところなんですけども、パークゴルフ場も視野に入れつつ、現状として既に公園として使われているという形でごさいますて。この公園という形を最低でも今の形のまま、あるいは変更になるかもしれませんが、そういった形態で町民の皆様に今後、未来永劫使っていただけるというところが一番大きな点かなというふうに思っています。

以上です。

- 1 3 番 私、これもう前に予算のときか何かでもちょっと質問させてもらったんですけど、実は主たる目的がなかった場合には、あそこは今まで第一生命さんから固定資産税が入っていた。そして、第一生命さんという名前もあその地所を取得してたから第一生命さんとのつながりもあった。ほかのところは比較的、情報サービスさんとか第一生命さん何々という別会社の名前の会社になってますよね。あその地所は第一生命さんがもちろんフットサルとかそういうふうになったと思うんですけど、

第一生命さんとの関係が逆になってくる。

そして、今度はあそこの公園を取得することによって、経費が前に補正予算で300万ぐらいですか、かかりました。今度の年間予算、まだ私よく見てませんが、500万以上の固定費がある。かかってくるわけですね、管理費が。そうしますと、パークゴルフ場以外に主たる目的がないのに固定資産税の収入減、そして第一生命さんとの関係が希薄になる。さらに経費としては数百万の持ち出しが出てくる。そういう事業というのは、余り勧められる事業じゃないと思う。だから私はパークゴルフ場以外にやはり二つとか三つ、主たる理由があって、その中にはパークゴルフ場というのは描いたんだろうと。でも隠れた理由があるんじゃないかと。さっ引けば一千万以上の金が、あそこを第一生命さんから町にするだけで減になるわけですよ。そういうことが私の感覚で言うと、おかしいと。その辺町はどのように考えたらいいかお聞かせ願います。

町 長 あそこは広場っていうような名称になっておりまして、公園でもないわけでありまして。いつ企業が売却しても、何らこちらで対抗手段がないわけでございまして。そういう点において、私は危惧をしております。

当然、あそこを使っていらっしゃる皆さんをはじめ、あそこを空間また公園だと認識していらっしゃる方もいようかと思いますが、何の法の制約もないんですね。そういうような中で、あそこを売却の話が出たとき、大概、町民の皆さん、町は何やってるんだろうというようなことになるんじゃないかなというように思います。

そういう点において、どうしても道路の問題は解決しなければならない問題でございまして、当然あの湘光園から湘光中学校の前から湘光園の北のあの道路を改修しなければいけない時期に来ておりまして。そういうような中で私道であったら、町の予算をつぎ込んで改修工事もできないですし、そういうこと全体の含みの中で第一生命とのきちとした外交ルートといいますか、話し合いの場があるうちにあの公園といいますか、敷地の問題も解決しておかなければならない問題であります。

売るとは言ってらっしゃらなかったんですが、一期二期にあの中を分けられました、一弾をですね。しかしながら、あそこでもですねというような話でしたから、それを売却されますと、あの南側の将来通そうという上大井の道路も、町に、いわゆるいろいろな条件の中で寄附していただくこともまたできなくなっていくます。

この辺でやはり、きちとした過去のものを精算していくというようなことも私たちどもも、心していかなければならない。そんなことの中で、この公園は市場相場より安くならと町が手に入れて、その安全確保

してたほうがいいんじゃないかなというような、私はそんな思いの中でパークゴルフ場も視野に入れつつ、買収をさせていただくような話を皆さん方に理解を求めたところであります。

- 1      3      番      町長の思いというようなことを、また先行で住宅の開発とかいうことでいろいろな問題があると、それで上大井小学校に抜ける道、今は細い道ですけど、正式には車が通れないというような状態のところ、そういうふうなものを解決するためにこういう経費があつて、第一生命とも希薄になるのを承知の上で、今回は町長の政治判断でいるというような理解でよろしいでしょうか。

町      長      政治判断というよりも、やはり将来、大井町の中で極端に言えば個人の持つ土地を町民が利用してて、そしてそれを永続的に使う、使わせろというのは、無理な話でしょうし、そういうことにならないうちに、きちっと交換するものは交換する、買い入れるものは買い入れる。精算をしておいたほうがお互いにいいんじゃないかなというような判断をしたというようなことの中で、私は本来であれば無償でというような思いもありましたが、企業がその時々体質もあります。

そんな中で、やはり売却の方法をとらなければならないというようなことの中で協議をさせていただいたわけでございまして。この値段がどうかというようなこともあろうかと思いますが、今の交渉の中では、議員、固定資産税の問題もおっしゃいましたけど、今買ったから、いわゆる通常の市街化区域の中の用地を買収するより安くできたわけでございまして。将来その値段が安かったのか高かったのかというのは、これはまた経済の動向によって変わりますけど、とりあえずは地価の半額ぐらいで買収できるというようなことは数字的にも確認できましたもので、それならやはり、ここで精算してたほうがいいんじゃないかなかと。そんな考えを元に皆さん方にお話をさせていただいた、買収したというようなことでございます。

- 1      3      番      私も金額に関してはこれはもう議決しておりますよ。私も賛成しましたから。これに関しては何にも言うことが、こういうふうな何々の理由があつて、そこをとる。町長が、私有地を町民が使っているのにそれはやっぱりおかしいんじゃないかと。やっぱり町が、皆さんが利用するならというような考えもあったということでしたから、私も承知しました。

それでは、今後29年度予算にというんですか、事業に関してあその地所を検討するというようなことで、今後どういうふうな理由、それは、町の職員さんの中で検討していくのか、あるいは先ほどこうこうというような話もありましたけれど、外部の人たちを交えた中であその

パークゴルフ場ということじゃなくて、もっと広い視野であそこの公園をどうしていこうかということのコンセンサスをさせていただいている集約、それはどういう方法でやられるのか、その辺をお聞かせ願います。

企画財政課長 あそこの場所のみに限って、あそこの場所をパークゴルフ場としてどうかという話し合いではなくて、あの場所を含めた中で、町全体統合を考えておいたうえで。先ほどの答弁の中でもありましたとおり、今まで活用してきた、検討してきた場所の中どこかないのか、それともそれ以外の場所で可能性があるところはないか、そのところも含めて検討すべきだと考えます。

パークゴルフとしてはそのような形なんですけれども、あの今の現状の公園について、どのような活用方法があるのかというような検討にしましても、町単独ではなくて、場合によっては地域の方々の意見も聞く必要があるのかなという意見も考えてございます。

以上です。

1 3 番 私もぜひ、あそこの公園を広域的にこちらに、当初は2ヘクタールでしたけど、0.4ヘクタール増えて、町長が遊水池、池ですね。それを少しふやして2.4ヘクタールというようなことで、これも順次表に出てくる公園だと思うんですね。それとぜひ関連しながら、やはり差別化ができたものを意見集約できればと思いますもので、ぜひ広い人の、予算が入ってませんから、私が見た感じでは公園事業の中に、多分その調査・研究という項目はなかったみたいですから、町の職員の方々と、憂慮でない人たちとで意見集約するのかなというふうに思いますから、ぜひそういう人たちとやっていただければというふうに思います。

それでは先ほどの道路に関して、私有道路。湘光中学校から旧湘光園のそこの公園までで行くと、後の上大井小学校に抜けるところの狭い道路は別として、劣化が非常に進んでます。それで、先ほど町長のほうは、早急にやりたいけれどそうはなかなか難しいんだというような話がありましたけれど、例えば2、3年のうちに調査・研究をして、その結論にのっとなって、その後やっていくというような姿勢は、もう町として出てるのかどうか、その辺をお聞かせください。

都市整備課長 中学から旧湘光園までの間ということで、これにつきましては、現状はやはり路面もかなり傷んでおります。29年度に現地調査または設計等を行いまして、早い時期に整備を行いたいというふうに思っております。

1 3 番 29年度調査・設計というようなことでよろしいですか。その後、早急にということは、もう30年度には事業をやっていきたいというような方

向なのかどうか、もう一度確認をお願いします。

都市整備課長 30年度にはやっていきたいという思いはございます。

以上です。

1 3 番 30年度に工事を着工したいと。それで、29年度には調査・設計ということで、この調査・設計は今年度の予算にもう上がっているわけですね。調査・設計ですから、外部委託ですからね。その辺どうですかね。

都市整備課長 この道路につきましては、外部委託はせずに役場の職員のほうで設計をしていけたらなというふうなことで思っています。

以上です。

1 3 番 道路の奥行きはそんなにないですけど、基本設計を現状に同じようにしていく。舗装とかその詳細とかをやっていけば外部委託する必要がないかなというふうに思うんですけど。私、実はここで設計をやったり、道路を現状のまうま利用できるような、生かせるような道路設計というか道路利用ができないかなとちょっと思っています。

実は、大井町は役場にけやき通り、大井町の役場に行く方向の湘光中学校のこちらのけやき通りに、少しひょうたんが出てます。ひょうたん文化推進協議会のほうに委託して、委託料として数十万支払ってます。前に、できた果実はどうしてますかという質問もさせていただきましたけれど、実際に私はこれから大井町の顔、大井町のPRというのを新たに作ってくるのは非常に大変だと思うんです。お金を投資しないでできるのは、今まで一生懸命やってきたことを根を広げていくと、そういうことでやったらどうかなというふうに思いまして、あそこの道路を外部委託じゃなく、職員の方々と設計していくということなら、あそこの道路、歩道が非常に、通常人の歩くよりも広がってます。あそこに大井町の顔でありますキンモクセイとかひょうたん棚とかスイセン。この辺を少し植えて、あそこの大井町を代表する道路であると。そういうような表現というのか、そういうような姿勢をすればいいんじゃないかなというふうに思うんですけど。そういう思いをこの設計に入れ込むという作業というのは可能かどうか。そして、可能ならやってもらえないかどうか、その辺をお聞かせ願います。

都市整備課長 職員のほうで設計をやっていきたいということを申し上げましたけれども、あそこの道路につきましては幅員が12、3メートルくらい、かなり広い道路でございます。今の形状を生かして整備をするのか、もう少し形を、歩道の幅員等を変えながら整備をするのか、そういったところも含めて職員で考えていきたいというふうなことの思いで、答弁させていただいておりますけれども。議員言われたように、少し工夫を凝らしな

がらという考えで、できれば取り組んでいければなというふうに思っています。

以上です。

- 1 3 番 大井町は、よく外部の人から言うと、へそのない町だと。それは中心がないということだったと思うんですけど、この地が行政の中心地に、へそになってきています。で、この区画整理もできる。でも、やはりそれ以外にその他のところにいろいろPRしていくには、大井町あそこに行けば、いろいろ大井町のことがよくわかるよと。

先ほども、道路に対して地中化というのとか、前回のときも富士山の関係を一生懸命やったらどうですかとか、相和のゆめの里のところの桜も皆さんで一遍食事をする会を開いたらどうですかということをやって、少しでもほかの面で今やってるところの延長の中で大井町をPRしていく方法があるのではないかと。そういうことで、ちょっと提案させてもらう。

この道路も、やっぱり中学生というのは、非常に対外的なことでいろいろな人があの体育館に来られるし、そういう面であそこに行けば大井町の花と、大井町が今、一生懸命やってることが、ここに集中してるよというようなことで、植栽を管理するにはケヤキだと相当大変になりますけれど、キンモクセイとかスイセンでしたらそんなに問題はないし、中学生も今ボランティアクラブですか、そういうのもあったり地域の方々も、あそこにあれが、たとえば500メートルとも1キロも続いているとなかなか大変な事になりますけれど、あのくらいの道でしたら協力者を得ながら私はできるのではないかとというふうに思ってます。ぜひ私はそういうことで入れ込んでほしいという強い思いなんですけれど、町長さんの思いをちょっと……。

- 町 長 なかなか、易しい話のようで難しい話にもなろうかと思えますけど。やはり町っていうのは、潤い感がほしいからですね。自分の庭にパンジーを植えて飾ったり庭木を植えたりして、皆さんそれぞれ家庭でもやってらっしゃるわけでございまして。町もやはりコンクリートとアスファルトに囲まれたところよりも、やはり自然の木があったりというようなことが私は理想じゃなかろうかなと思いますし、私もそういうの好きだから、いろいろなものを庭に植えたりしておるんですけど。ぜひやはり、そういうことを取り入れていくことができればなというふうに思います。

今、けやきが問題なんじゃなかろうかなというような、石井議員おっしゃいましたけど、バスが通りますから、あんまり車道の方に出るような大きな木になってしまっても問題あるんじゃないかなと思います。

また、近隣の御理解も頂戴しなければならないわけでございますけど、そういうような潤い感があるものができればいいなというような思いでございますので、そんな努力を職員も日ごろからしてるところでございます。そんな思いで設計なりやっていけるようにしたいと考えております。

- 1      3      番      思いは我々もみんな違うし、でもこの思いというのは、先ほど私、冒頭の登壇でも質問の中で話させていただきましたけれど、我々がいいと思って、道路整備とかいろいろな教育とかをどんどんやって、自分たちのいいと思うことを今の世代でやるものではなく、私は次の世代の人たちに、いかにいいことをしていけるかということを行政はやるべきだと。今まで我々も自分のために一生懸命やったらいいというふうに思いましたが、これからの世代、やはりなかなか人口が減ってきて、厳しい役所運営になってくると、それなら次の世代に喜ばれる、それにはやっぱり教育と基盤整備だと。やはり住みよい町整備と子どもさんの教育ということだと思うよね。

そういう面で道路は、道は、人が歩くところと車が走るところであるという意識だけでなく、そこに町長今言われたように緑があったり、あるいは町がそこで、皆さんがそこへ見学に来たりとかそういうようなことが交流の場になれるような、やはり施策等とか道路行政をしていかなきゃいけないんじゃないかと。道路行政は絶対必要であると。これは今の人が必要でなくても将来はなかなかできないということで、土地区画整備という形で話させていただきましたけれど。やはり今後も町の基本となる道路行政、そして教育行政をしっかりと討議し、そして皆さんの意見を聞きながら、町運営されることを期待して質問を終わりたいと思います。

- 議      長      以上で、13番議員石井勲君の一般諮問を終わります。